

大区分: 情報と伝達

情報と伝達は経営者と他の特定の従業員が責務を遂行できる状態と時間枠内で、情報の識別、入手、交換ができるようにサポートするものである。

回答者/責任者
 [組織名: **** * 氏名: **** *]

チェック項目	回答者	設計上の有効性評価			運用上の有効性評価		結論
		Y/N	回答	根拠資料 (文書名・番号等)	確認方法 (具体的に記入)	結果	
コミュニケーションの有効性							
1	社内に財務情報を共有する効果的な情報伝達手段が整備されて、有効に機能しているか。	経理部長	Y	役員は月次決算に関する資料のすべてを、管理職については月次決算概要を常時イントラネットで閲覧できるように整備されている。	イントラネット上の月次決算情報	イントラネットを閲覧し、適切な情報がアップされていることを確かめた。また、システム担当者立会いのもと、サンプルで特定の役員、管理職のIDでログインしたところ、それぞれあらかじめ定められた情報のみにアクセス可能であった。	有効
2	経営陣は、事業の目的や活動を遂行する上で、必要な外部情報(顧客、取引業者、監督官庁、その他ステークホルダーとのコミュニケーションによってもたらされた情報)に対して、迅速かつ適切な措置をとっているか。	代表取締役	Y	当社の役員室には本社勤務役員があり、活発な情報交換がされている。また、本社勤務以外の役員も同室に席が用意されており、月1回の役員会開催日には、事業の目的や活動を遂行する上で、必要な外部情報交換をし、対応策について活発にディスカッションを行っている。	N/A	N/A	有効

情報と伝達

効果的 効果的でない

明白な場合を除き、上記の評価の裏付けとなる理由を要約してください。